

276-452



276

452

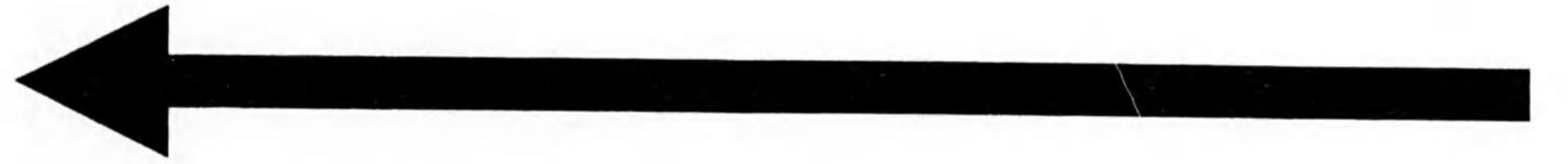
×
複写

昭和三年三月三十一日現在
體育研究所概要

第三版



始

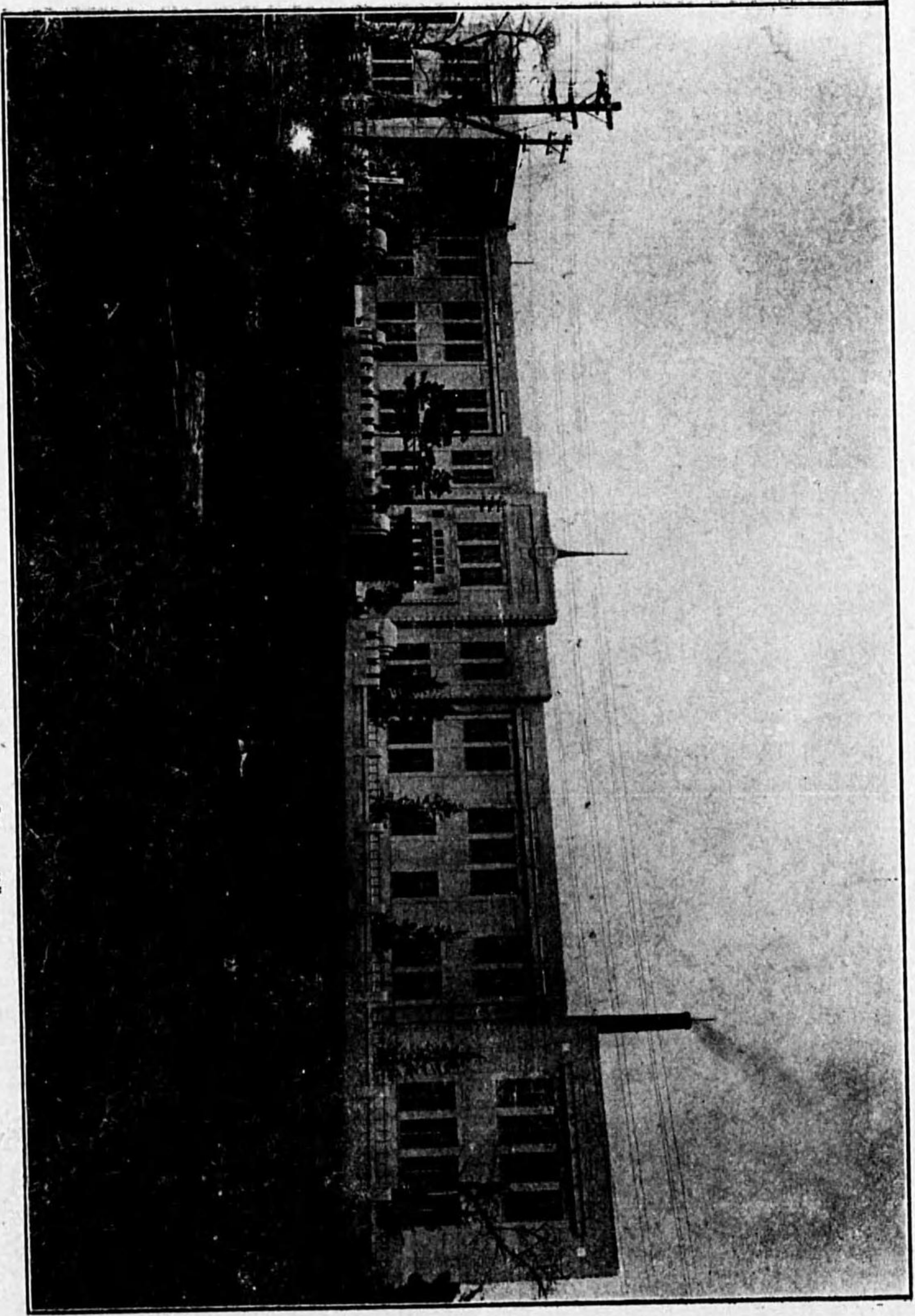


昭和二年十二月二十五日

體育研究所概要
(第二版)

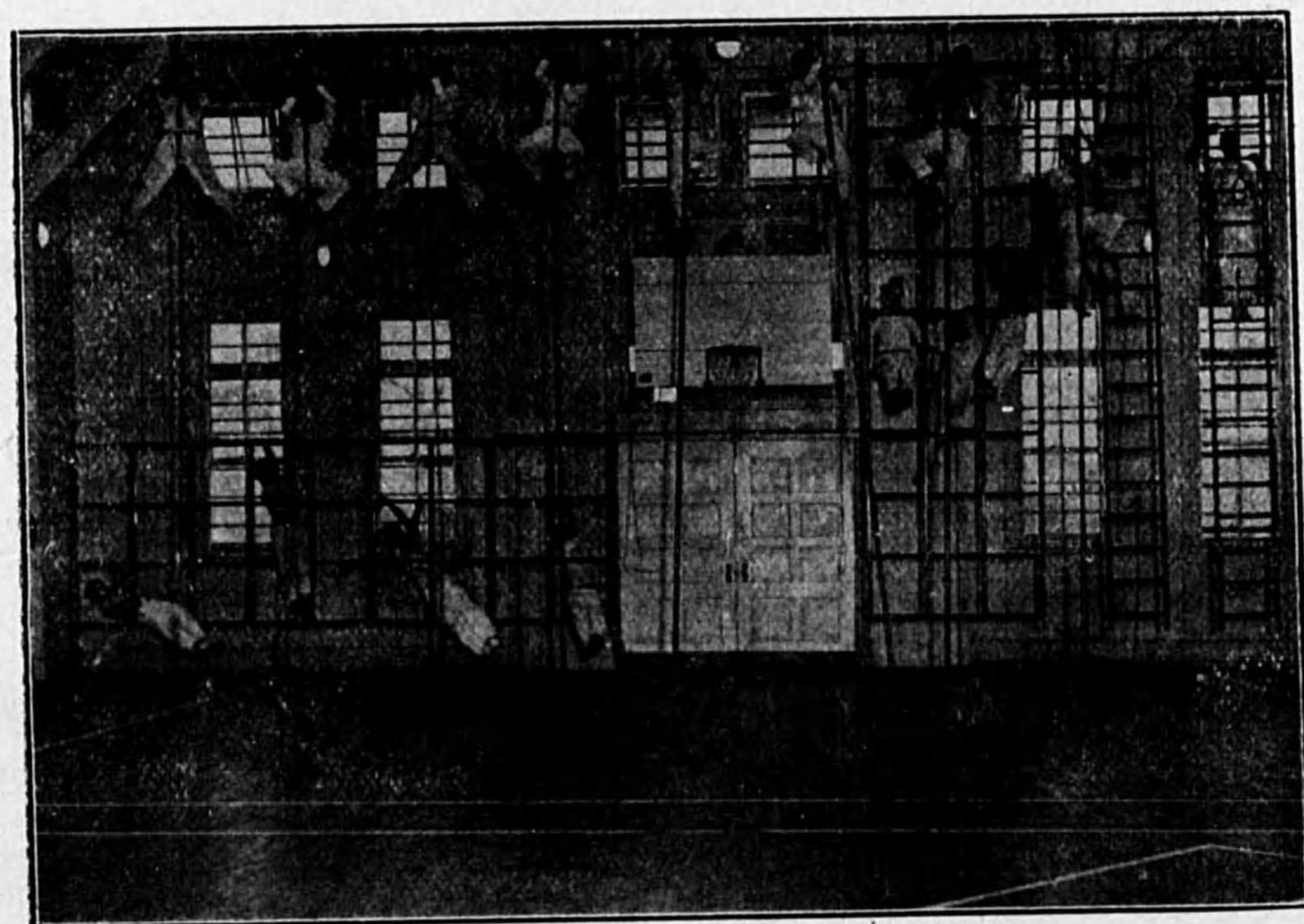
體育研究所

面正所究研育體

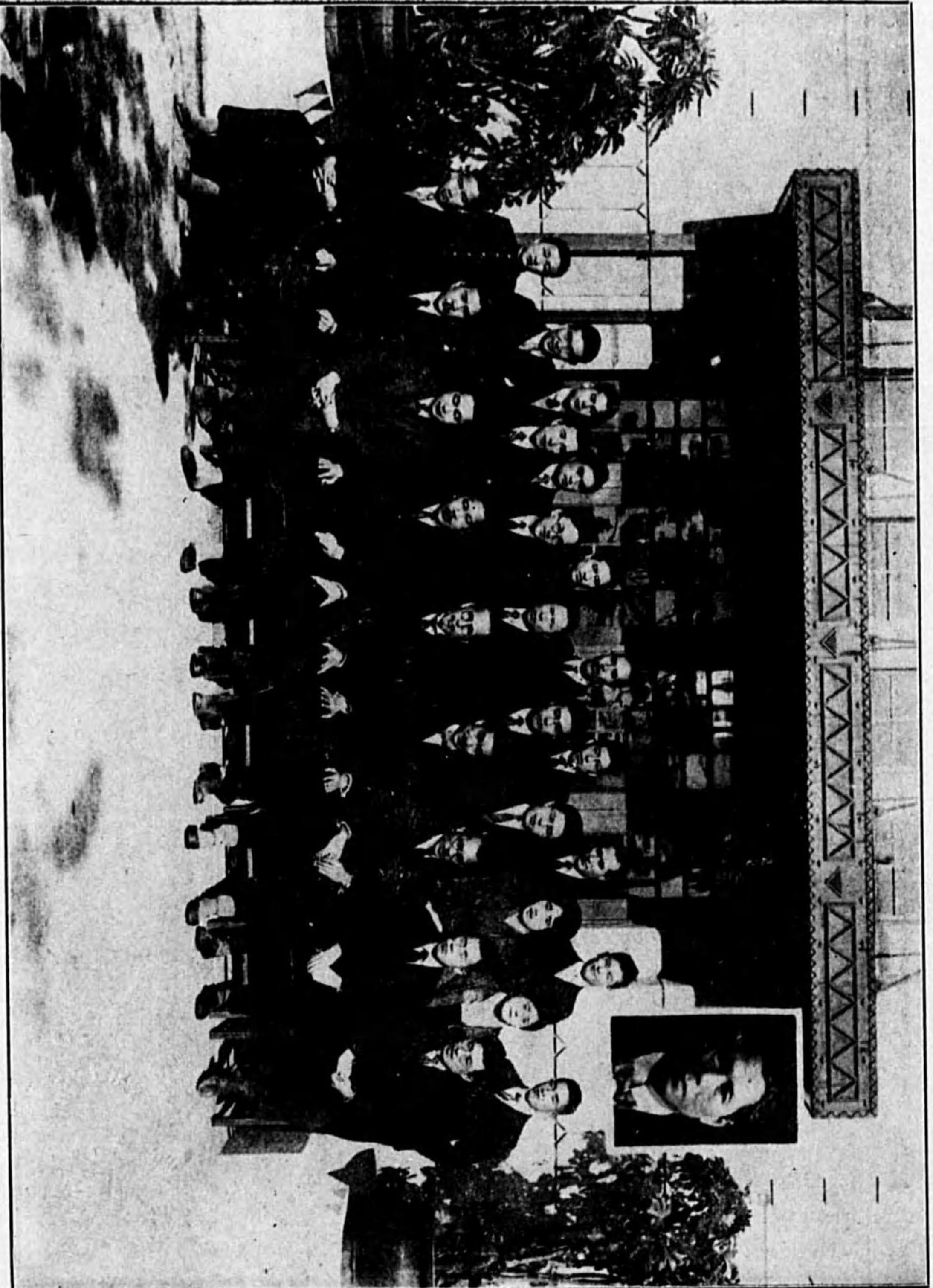




(一ノ其) 演 實 操 體



(二ノ其) 演 實 操 體



員 職 所 究 研 育 體

276-452



體育研究所概要

目次

(昭和二年三月三十一日迄ノ概要)

所寄贈本

本所全景 長期講習狀況 現在本所々員

下沿革	繪	一
官制	二	二
組織及職員	三	三
職員	四	四
四、設備	五	五
(一) 建物	六	六
(二) 屋外設備	七	七



五、事業

(一) 研究調査

- 1. 研究.....三
- 2. 調査.....三

(二) 講話會

(三) 指導教授

- 1. 講習會.....二六
- 2. 研究生指導.....二四
- 3. 講演會.....三九
- 4. 出張指導.....三九
- 5. 質疑應答.....四〇

六、出版
附錄 本所平面圖(二枚)

體育研究所概要

一、沿革



日清、日露ノ兩戰役ヲ經テ、一躍世界列強ノ班ニ列シ、更ニ歐洲大戰ヲ經テ、世界ノ三大強國ト稱セララルマデニ國位ヲ進メタル我が國ハ、世界ノ列強ト伍シテ全世界人類文明ノ嚮導ヲ爲スベキ責任アル國家ヲ形成スルニ至レリ。而シテ此ノ際四圍ノ現狀ニ顧ミテ、放任シ得ザル問題多クアリト雖モ、世界列強中最モ不良ナル狀態ニ在ル我が國民ノ體位ヲ向上シ、其ノ心身ノ平均能率ヲ高メ、其ノ元氣ヲ振作スル爲、國民體育ヲ根本的ニ研究シ其ノ改善ヲ圖ルハ、一時ヲ緩ウスベカラザル問題タリ。此ノ問題ハ國家ノ最モ緊要ナル一事業ナルヲ以テ、國民體育研究ノ一機關ヲ特設スルコトノ急務ナルニ鑑ミ文部省ニ於テハ、大正五年早クモ本所設置ニ關シ調査ヲ開始シタルガ、爾來大正十一年ニ亘ル數年間ニ於テ各種ノ教育會議、學校長會議、學

校衛生主事會議、帝國學校衛生會、全國聯合學校衛生會、學校衛生會、學校醫會、大日本醫師會、衆議院等ニ於テ内閣總理大臣、文部大臣宛ニ爲サレタル建議請願ハ著シク多數ニ上ルニ至レリ。殊ニ大正十一年二月十八日ヲ以テ衆議院ニ提出セラレタル建議案ハ八木逸郎、山田永俊三浦得一郎、松下禎二、近藤達見等十二名ノ代議士ニヨリ提出セラレ、賴母木桂吉、若尾璋八、西村丹治郎、仙波太郎、中野正剛、押川方義、砂田重政等四十四名ノ代議士ニヨリ賛成セラレタリシガ、同年三月二十五日ノ本會議ニ於テ八木委員長ノ報告通り可決セラレタリ。茲ニ於テ文部省ハ從來多年調査セシ所ニ據リテ案ヲ定メ、體育研究所設置ニ關スル新規要求豫算ヲ計上シ、同年十一月九日ノ閣議ニ於テ、其ノ承認ヲ經タリ。該豫算ハ同年第四十六議會ニ於テ、大正十二年度ヨリ同十三年度ニ至ル二箇年繼續ノ事業トシテ、遂ニ貴衆兩院ノ協賛ヲ經ルニ至レリ。

大正十二年七月二十五日東京市赤坂區青山南町六丁目實業家望月軍四郎氏ハ、本所ノ敷地トシテ東京府下代々幡町大字代々木、西ヶ原ニ於テ、宅地、畑及ビ山林九千二百二十一坪ヲ寄附シタルヲ以テ、文部省ハ直ニ建物其ノ他諸般ノ具體的設計(建坪約七百坪ノ二階建本館、約四百四十八坪ノ平家建體操研究室ヲ始メ動物舍、機關室、附屬家等ノ建物ノ外、煖房、給水、瓦斯電燈

裝置、周圍境界、地平均、排水等ニ關スルモノ)ヲ進メタリ。

大正十二年九月一日ニ起リタル關東大震災後、同年十二月召集セラレタル臨時議會ニ於テ、本所建築工事ハ大打撃ヲ受ケ、前述ノ如ク大正十三年度ニ完成スベキノ處、大正十五年ニ至ル二箇年ノ工事繰延ベノ已ムナキニ至リシガ、本所ノ建築工事ハ大正十三年二月三日ニ着手セラレ、研究室ノ一部タル體操研究室(男女浴室、更衣室、器具室ヲ含ム)附屬館及ビ便所ノ三棟ハ同年五月十五日ヲ以テ竣工シ、一部ノ竣成ヲ告ゲタルヲ以テ、最小限ノ人員ヲ以テ、直チニ研究ヲ開始スルハ、時勢ノ要求ニ應ズル所以ナリ。即チ大正十三年十月二十五日、勅令第二百五十號ヲ以テ、本所官制公布セラレ、茲ニ多年ノ問題タル本所ノ創立ヲ見タリ。

- (二) 大正十三年十月二十五日、本所事務所ヲ文部省内ニ置カル。
- (三) 大正十三年十一月十九日、官制ニヨル職員ノ任命ヲ終リタリ、其ノ職氏名左ノ如シ。

技師

(兼) 所長

文部省學校衛生官

北

豐

吉

吉

田

章

信

(兼) 東京高等師範學校助教

大谷 武一
佐々木 等

書記

(兼) 文部屬

田村 森次

技手

松井 三雄

秋田 善雄

囑託

高野 雪治

小野 寺永藏

(四) 大正十四年一月三十一日、囑託高野雪治體育研究所書記兼技手ニ任ゼラル。

(五) 同年三月二十一日、事務所ヲ文務省内ヨリ代々幡町本所體操研究室ニ移轉ス。

(六) 同年三月二十四日ヨリ、同三十一日マデ、全國官公私立專門學校程度諸學校體操科擔任教

師ニ對シ、本所ニ於テ第一回體育講習會ヲ開催シ、三月三十一日講習員五十七名ニ修了證書ヲ授與ス。

(七) 同年三月二十七日、今泉剛一ニ歐洲ニ於ケル體育運動ノ調査ヲ囑託ス。

(八) 同年五月二十日ヨリ、同二十六日マデ、東京府ノ依頼ニヨリ東京府下公私立高等女學校體操科擔任教師三十五名ニ對シ、本所ニ於テ體育講習會ヲ開催ス。

(九) 同年六月二十三日、岡田文部大臣來所アリ、所長ヨリ研究指導ノ現狀、方針、設備ノ狀態ヲ詳細ニ報告シ、所員ノ研究問題ヲ聽取セラレ、體操研究室ニ於テ體操ヲ、又目下建築中ノ本館及ビ屋外運動場等ヲ視察セラレタリ。

(一〇) 同年七月十七日、河田大藏省主計局長以下、同局各課長來所ノ上研究並ニ設備ノ狀況ヲ視察セラル。

(二) 同年八月一日ヨリ、同月十日マデ日本體育聯盟ノ依託ニヨリ體育講習會ヲ開催ス。

(三) 同年十月二日、本館工事落成ス。

(三) 同年十月八日、長谷川治平體育研究所雇ヲ解キ體育研究所事務ヲ囑託セラル。

- (四) 同年十一月十六日、事務所及ビ所員室ヲ本館ニ移ス。
- (五) 同年十一月四日ヨリ同十一日マデ、全國中學校體操科擔任教師ニ對シ本所主催體育講習會ヲ開催シ、講習員四十八名ニ修了證書ヲ授與セリ。
- (六) 同年十二月十五日、技手松井三雄心理學研究ノ爲滿一年半獨逸國へ留學ヲ命ゼラル。
- (七) 同年十二月十五日、體育研究所研究生内規制定。
- (八) 大正十五年二月二十四日、本日ヨリ三月三日マデ七日間、全國高等女學校及ビ實科高等女學校體操科擔任教員ニ對シ、本所主催體育講習會ヲ開催シ、講習員七十八名ニ對シテ修了證書ヲ授與ス。
- (九) 同年三月二十五日ヨリ二十九日マデ、日本體育聯盟ノ依託ニヨリ體育講習會ヲ開催ス。
- (一〇) 同年三月二十六日、松井技手歐洲ニ出發ス。
- (一一) 同年三月三十一日、陸軍上等看護長塚越保本所事務ヲ囑託セラル。
- (一二) 同年同月同日、清水直三郎同上。
- (一三) 同年同月同日、山田敏正同上。

- (一四) 同年四月十三日、阿部芳甫體育研究所技手ニ任ゼラル。
- (一五) 同年四月二十八日、小笠原道生體育研究所事務ヲ囑託セラル。
- (一六) 同年五月六日、安田守雄體育研究所事務ヲ囑託セラル。
- (一七) 同年五月十四日、東京高等師範學校教授野口源三郎體育研究所技師ニ兼任セラル。
- (一八) 同年六月七日、東京府ノ依託ニヨリ本日ヨリ八日間東京府下小學校男教員ニ對シ體育講習會ヲ開催ス。
- (一九) 同年同月十八日、新潟縣ノ依託ニヨリ本日ヨリ五日間同縣下中等學校體操科擔任教師ニ對シ本所主催體育講習會ヲ開催シ、講習員五十二名ニ對シ修了證書ヲ授與ス。
- (二〇) 同年六月二十二日、長谷川治平體育研究所事務囑託ヲ解キ體育研究所雇ヲ命ジ同日附ヲ以テ體育研究所書記ニ任ゼラル。
- (二一) 同年同月同日、酒井將體育研究所技手ニ任ゼラル。
- (二二) 同年同月同日、渡部重一郎體育研究所技手ニ任ゼラル。
- (二三) 同年同月同日、本所官制ハ勅令第一八五號ヲ以テ改正セラル。

- (四) 同年六月二十五日、本日ヨリ十日間全國小學校教員中、特ニ本講習ニ適任ナル者ニ對シ、本所主催體操科改正教授要目講習會ヲ開催シ、講習員九十九名ニ對シ修了證書ヲ又聽講員十七名ニ對シ證明書ヲ授與ス。
- (三) 同年六月三十日、兼任技師佐々木等專任技師ニ任ゼラル。
- (二) 同年七月五日、岡田文部大臣及田中文部政務次官來所視察セラル。
- (一) 同年七月六日、囑託小笠原道生體育研究所技師ニ任ゼラル。
- (元) 同年同月同日、囑託安田守雄體育研究所技師ニ任ゼラル。
- (四) 同年七月七日、本日ヨリ十日間、全國師範學校女子部、高等女學校教員中適任者ニ對シ、本所主催體操科改正教授要目講習會ヲ開催シ、講習員八十三名ニ對シ、修了證書ヲ授與ス。
- (三) 同年七月十九日、本日ヨリ十日間、全國中學校、實業學校教員ニシテ本講習員トシテ適任ナル者ニ對シ、本所主催體操科改正教授要目講習會ヲ開催シ、講習員八十名ニ對シ、修了證書ヲ授與ス。
- (二) 同年七月二十二日、壓力給水槽及ビ給湯裝置竣工ス。

- (三) 同年七月三十一日、本日ヨリ十日間、全國師範學校男子部教師ニシテ本講習員トシテ適任ナル者ニ對シ、本所主催體操科改正教授要目講習會ヲ開催シ、講習員六十九名ニ對シ、修了證書ヲ授與ス。
- (二) 同年八月十日、坂入虎四郎體育研究所技手ニ任ゼラル。
- (一) 同年九月六日、日本體育聯盟ノ依託ニヨリ本日ヨリ五日間體育講習會ヲ開催ス。
- (四) 同年九月十七日、杉本正信體育研究所技手ニ任ゼラル。
- (三) 同年九月二十日、本日ヨリ向フ十週間中等學校體操科教員免許狀所有者ニ對シ、本所主催第一回長期講習會ヲ開催シ、正員十一名ニ修了證書聽講員六名ニ對シ證明書ヲ授與ス。
- (二) 同年十月二日、平原壽惠子體育研究所技手ニ任ゼラル。
- (一) 同年十月七日、囑託清水直三郎體育研究所技手ニ任ゼラル。
- (四) 同年十月十九日、シヤム國皇族ダニー殿下來所、視察セラル。
- (三) 同年十月二十日、正門、通用門及ビ塀竣工ス。
- (二) 同年十月二十六日、塚越囑託依願解囑。

- (三) 同年十月二十七日、陸軍歩兵特務曹長西村清體育研究所事務ヲ囑託セラル。
- (垂) 同年十一月二十五日、囑託山田敏正囑託ヲ解キ體育研究所技手ニ任ゼラル。
- (酉) 同年十一月二十日、山來實體育研究所事務ヲ囑託セラル。
- (壬) 同年十二月三日、本日ヨリ六日間、東京府ノ依託ニヨリ府下中等學校女教員四十七名ニ對シ、體育講習會ヲ開催ス。
- (癸) 同年十二月六日、松岡松太體育研究所事務ヲ囑託セラル。
- (丑) 同年十二月十一日、大正天皇御不例ニ付、本所高等官一同宮中ニ天機ヲ奉伺ス。
- (卯) 同年十二月二十七日、大正天皇崩御アラセラレタルニ付、本所高等官一同宮中ニ天機ヲ奉伺シ、判任官一同ハ文部省ニ參集シテ天機奉伺簿ニ署名ス。
- (辰) 昭和二年一月六日、春名英三、石川孝壽體育研究所技手ニ任ゼラル。
- (巳) 同年一月十九日、本日ヨリ十日間專門學校程度諸學校體操科擔任男教員ニ對シ、本所主催體育講習會ヲ開催シ、講習員三十八名ニ修了證書ヲ授與セリ。
- (亥) 同年二月八日、大正天皇御大葬儀ニ付、本所員八名宮城前ニ於テ靈輜ヲ奉送ス。

- (三) 同年二月十九日、松元稻穂體育研究所事務ヲ囑託セラル。
- (三) 同年二月二十三日、陸軍配屬將校五百五十名參觀セラル。
- (辰) 同年三月一日、東京府ノ依託ニヨリ、府下青年體育指導者五十名ニ對シ體育講習會ヲ開催ス。
- (巳) 同年三月十一日、上田精一體育研究所技手ニ任ゼラル。
- (未) 同年三月二十九日、本間茂雄體育研究所事務ヲ囑託セラル。
- (申) 同年三月三十一日、技手清水直三郎願ニ依リ本官ヲ免ゼラル。
- (酉) 同年同月同日、清水直三郎體育研究所事務ヲ囑託セラル。
- (戌) 同年同月同日、中村弘道體育研究所事務ヲ囑託セラル。
- (吉) 同年同月同日、本所下水排水装置及ビ運動場地平均工事竣工ス。

二、官制

體育研究所官制

(大正十三年十月二十五日勅令第二百五十號)

〔沿革〕 大正十五年六月勅令第一八五號改正

第一條 體育研究所ハ文部大臣ノ管理ニ屬シ體育ニ關スル調査研究及ビ指導教授ヲ掌ル

第二條 體育研究所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長

技師 專任 六人 奏任

書記 專任 二人 判任

技手 專任 六人 判任

前項定員ノ外九人以内ノ無給技手ヲ置クコトヲ得

第三條 所長ハ技師ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

所長ハ文部大臣ノ指揮監督ヲ承ケ所務ヲ掌理ス

第四條 技師ハ所長ノ命ヲ承ケ所務ヲ掌ル

第五條 書記ハ上官ノ命ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第六條 技手ハ上官ノ命ヲ承ケ所務ニ従事ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三、組織及ビ職員

(一) 組 織

本所ノ事務ヲ左ノ九部ニ分チ各部ニハ各一名ノ部長ト數名ノ部員トヲ配シ夫々事務ニ當ラシムルコト、セリ。

- (1) 庶務部
- (2) 解剖學部
- (3) 生理學部
- (4) 衛生學部
- (5) 化學部
- (6) 心理學、教育學部

(7) 體操部(體操・教練・武道・水泳其ノ他遊戯部・競技部ニ屬セザル諸遊競技)
 (8) 遊戯部(競争・唱歌・行進各遊戯及ビ球技)
 (9) 競技部(走・跳・投技及ビ競技會管理並ニ運動場ニ關スル事項)

(二) 職員

本所職員左ノ如シ (昭和二年三月三十一日現在)

所長 醫學博士 北 豐 吉
 技師 醫學博士 北 豐 吉

衛生學部長 醫學博士 北 豐 吉(石川)
 體操部長 醫學博士 吉 田 章 信(岡山)
 競技部長(兼) 東京高等師範學校教授 大 谷 武 一(兵庫)
 遊戯部長 野 口 源 三 郎(埼玉)
 生理學・心理學・教育學部長 佐々木 等(福島)
 醫學士 小笠原 道 生(和歌山)

化學・解剖學部長 醫學士 安 田 守 雄(京都)
 書記 (兼) 文 部 屬 田 村 森 次(香川)

庶務部長 高 野 雪 治(新潟)
 庶務部員 長 谷 川 治 平(福井)
 技 手 (兼) 體 育 研 究 所 書 記 高 野 雪 治

解剖學部員 千葉醫學士 秋 田 善 雄(静岡)
 心理學部員(在外留學中) 文學士 松 井 三 雄(山口)
 同 文學士 阿 部 芳 甫(山口)
 生理學部員 山 田 敏 正(青森)
 體操部・競技部員 酒 井 將(長野)
 遊戯部・競技部員 渡 部 重 一 郎(北海道)

競技部員	(無給)	坂入虎四郎(神奈川)
體操部・競技部員	(無給)	杉本正信
生理學部X光線係	(無給)	醫學士 春名英之(埼玉)
同	(無給)	長崎醫學士 石川孝壽(福岡)
競技部員	(無給)	上田精一(島根)
遊戯部員	(無給)	平原壽惠子(東京)
囑託		
	(兼) 文部屬	
化學部員		千葉藥學士 小野寺永藏(宮城)
庶務部員		山來實(千葉)
衛生學部員		西村清(熊本)
教育學部員		松岡松太(廣島)
遊戯部・體操部員		文學士 清水直三郎(德島)
		本間茂雄(新潟)

體操部員	(無給)	松元稻穗(鹿兒島)
心理學・教育學	(無給)	文學士 中村弘道(熊本)
雇員		
解剖學部勤務		前田寅吉(新潟)
同		齋藤吉次郎(山形)
庶務部勤務		佐藤はるよ(宮城)
同		山根福美(愛媛)

四、設備

本所ノ位置ハ、東京府下代々幡町大字代々木字西原九百八十三番地ニ在リ。京王電車代々幡又ハ幡ヶ谷停留場ヨリ東方約三丁、又代々木八幡神社ノ西方數丁ノ地點ナリ。廣サ約一萬坪、土地高燥、空氣清ク、閑靜ニシテ眞ニ體育ノ研究ニ恰適ノ地タリ。

(一) 建物

1. 本館

本館ハ鐵筋「コンクリート」造二階建、正面三十七間、延坪數六百三十三坪七合八勺一（内三十一坪六合一勺五ハ地下室）ヲ算ス。

本館内諸室ハ研究室トシテ解剖、生理、心理、病理、化學、衛生、細菌、教育哲學等ノ諸室、X光線室、天秤室、器械標本室、圖書室等ノ附屬室ヲ有シ、且ツ指導ノ爲講堂ヲ具ヘ其ノ他所長室以下所員ノ居室、事務室、會議室、應接室等ヲ有シ、地下室ニ汽罐室アリ。

2. 體操研究室

體操研究室ハ本館ノ西方ニアリ、廊下ニヨリ本館ト連リ、體操、遊戲及ビ武道ノ研究兼指道室タリ、木造「コンクリート」張平家建、延坪數百四十八坪五合ヲ算ス、研究室ノ廣サ八十六坪、室ノ牀上梁マデノ高サ三間二尺、屋根、窓、牀、煖室、照明等ノ設備ニハ十分ニ意ヲ用ヒタリ。之ニ各種ノ運動器械十四種ヲ備付ク、爾餘ノ運動具ハ連接セル器具室ニ收ム。更衣室男女各一室、浴室男女各一室及ビ觀覽席ヲ附設ス。

研究室備付ノ運動機械左ノ如シ。

(13)	(12)	(11)	(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
フライイングリング	吊繩	吊棒	排球網支持装置	トラベリングリング	鐵棒	籠ボール	平行棒	窓梯子	吊梯子	固定梯子	肋木	チェスウエイト
(Flying Ring)	(Vertical Ropes)	(Vertical-poles)	(Net-holder for Volley-ball)	(Travelling Ring)	(Horizontal Bars)	(Basket-Goal)	(Double Beam)	(Window Ladder)	(Suspended Ladder)	(Fixed Ladder)	(Wall Bars)	(Chest-Weight)
1	4	4	1	1	1	1	4	1 1	2	2	12	小大 2 2
					大人用 2 小人用 1			横縦			欄	

(14) 斜吊繩 (Oblique Rope)

1

110

3. 動物室

本館ノ東側ニ在リ、木造平家建ニシテ坪數二十四坪ナリ。

4. 附屬家

本館ノ裏手ニ隣接シ、木造二階建七坪、平家十四坪、延坪二十八坪ヲ算ス。

5. 便所

本館ト體操研究室トノ中間ニ在リ、木造平家建五坪ナリ。又屋外ニ木造平家建一坪七合五勺體操研究室ノ北方ニ近ク設ク。

6. 渡廊下

本館ト體操研究室及ビ便所トヲ連續スルモノニシテ、木造平家建九坪八合五勺四ナリ。

7. 給湯汽釜室

木造平家建四坪、之レ體操研究室ノ浴水沸ニ供スル設備ニシテ、本館ト體操研究室トノ中間ニ位ス。

8. 井戸ポンプ上家 木造平家建三坪。

9. 壓力水槽室 木造平家建六坪。

右二ハ本館ノ後方ニ近ク位置シ、給水用ノ設備トス。

(二) 屋外設備

1. 鐵 棒

體操研究室ノ南方ニ在リ、四欄ヲ具ヘ、砂場ノ廣サ5.5米+7.3米

2. 跳躍場(高、幅跳)

本館ノ北方ニ在リ、砂場ノ廣サ4.0米×6.0米跳場ノ半径15.0米走路ノ面積2.0米×35.0米トス。

3. 庭球場

一箇本館ノ東方低地ニ在リ。將來四箇ニ増設ノ豫定ナリ。

4. 大運動場

本館ノ北方ニ在リ目下面積約五千坪ヲ有ス。將來茲ニ三三〇米ノ「トラック」、「フィールド

ド、二千入ヲ收容スル「スタンド」及ビ水泳「プール」ヲ設備スル豫定ナリ。

五、事業

(一) 研究調査

1. 研究

大正十三年十一月創立當初ニ於テ定メタル、各技術者ノ研究事項ハ、創立當時ニ於ケル諸般ノ事務并ニ指導教授ト共ニ研究ヲ開始シ、其ノ内容ノ廣汎ニ亘ルモノハ、尙發表ノ時期ニ至ラザルモ、漸次進捗シ近ク完成セントスルモノアリ。今大正十四年度以降二箇年間ニ於テ完成報告發表シタルモノヲ記セバ左ノ如シ。

(1.) 大正十四年五月

世界的選手ノ身體狀況

技師 吉田 章 信

技手 秋田 善 雄

(雜誌學校衛生 大正十四年七月一日 體育ト競技 大正十四年六月一日 ニテ發表)

(2.) 大正十四年十二月五日

體研ボール第一種

技師 大谷 武 一

(官報ニテ發表)

(3.) 大正十四年十二月二十八日

體育ニ關スル統計的研究

技師 吉田 章 信

(雜誌社會醫學雜誌 大正十四年第四・四六七號 ニテ發表)

(4.) 大正十五年四月二十四日

運動ノ律動ニ關スル研究

技手 松井 三 雄

(雜誌學校衛生 大正十五年三月 第六卷第三號 ニテ發表)

(5.) 大正十五年十月二十九日

鹽類ニヨル澱粉ノ作用ニ就テ

技師 安田 守 雄

(日本生化學會總會ニ於テ)

(6.) 大正十五年十一月三日

日本人ノ身長、體重及ビ頭圍ノ發育ニ關スル研究

技師 吉田章信

(雜誌ジャパンメデイカルウオード 大正十五年 第六卷第一〇號 及ビ第三回汎太平洋學會ニテ發表)

(7.) 大正十五年十一月二十一日

邦人ノ身體重心ニ關スル研究 技手 秋田善雄

(千葉醫科大學醫學總會ニ於テ)

(8.) 昭和元年十二月二十七日

日本壯丁ノ體格ニ關スル統計的研究 技師 吉田章信

(雜誌社會醫學雜誌 大正十五年 第四七八號 ニテ發表)

2. 調査

多年要望セラレタル學校體操教授要目ノ改正ハ遂ニ昨年五月二十七日文部省訓令第二十二號ニヨリ實現セラレ、茲ニ時代ノ進歩ニ適應シテ面目ヲ一新シタル教授要目ノ公布ヲ見タルハ斯界ノ爲誠ニ慶賀ニ堪ヘザル所ナリ。

本所ニ於テハ、新令公布ノ後之レガ解説書ノ調査ニ着手シ之レニヨリ一層有効ニ新定學校體操ノ精神並ニ内容ヲ全國諸學校ニ普及センコトヲ企テ本年二月學校體操解説ノ調査ヲ完成シ同月二十五日之ヲ刊行發表セリ

(二) 講話會

毎月第一土曜日(第一土曜日事故アルトキハ第二土曜日)ヲ定日トシ、所員ノ研究セル所ヲ適宜發表シ、所員各自ノ綜合的研究ニ資シ、傍ラ本所ト關係ノ最モ深キ官衙、學校、運動團體等ニ來聽方ヲ通知シ、豫期以上ノ成果ヲ收メツ、アリ。今昭和二年三月末マデニ於ケル狀況ヲ記セバ左ノ如シ。

- 1. ワンデルフォーゲル 北 所 長
- 2. 碎氷時ノ救助法 岩 原 衛 生 官
- 3. 促進學級ニ就テ 大 西 衛 生 官
- 4. 競技運動ト道德 佐 々 木 技 師
- 5. 運動ト食 吉 田 技 師
- 6. 曲線ニヨル情調ノ表現 松 井 技 手

7.	バドック・マーチソン兩選手ノ身體檢査成績ニ就テ	吉田技師
8.	内分泌臓器ト體質	秋田技手
9.	極東オリンピック競技大會ノ感想	大西衛生官
10.	體操	大谷技師
11.	進行ノ「リズム」	松井技手
12.	心臟ノ發育並ニ各種競技運動ニヨル増大及ビ縮小ニ關スル諸家ノ研究成績ニ就テ	吉田技師
13.	體育ノ主義ニ就テ	佐々木技師
14.	人體重心ノ測定(第一回測定)	秋田技手
15.	血壓測定及ビ血壓ト體育トノ關係ニ就テ	吉田技師
16.	對校競技問題解決	大谷技師
17.	統計ノ話	秋田技手
18.	歩行ニ於ケル個人差	松井技手

19.	ア式フットボールノ見方	佐々木技師
20.	虛弱者ノ定義ニ就テ	吉田技師
21.	基本體操	大谷技師
22.	プロイセンニ於ケル學校體操指針	岩原衛生官
23.	虛弱者ノ數ニ就テ	吉田技師
24.	運動場ノ設計	長谷川囑託
25.	フイリツピンノ體育狀況	大西衛生官
26.	虛弱者ノ原因ニ關スル研究	吉田技師
27.	Play-ground Movement	清水囑託
28.	運動醫學研究ノ態度	小笠原囑託
29.	虛弱兒童ノ體育ニ關スル方針	吉田技師
30.	運動ノ生化學	安田囑託
31.	物心並行論ニ就テ	阿部技手

32.	陸上競技ノ決勝審判ニ就テ	野口	技師
33.	虚弱者ノ體育方法ニ就テ	吉田	技師
34.	フットベースボールノ方法ニ就テ	佐々木	技師
35.	體操器具ニ就テノ研究	今井	學習院教授
36.	虚弱者ノ徵候	吉田	技師
37.	扁手足ト歩行	渡邊	技師
38.	Klaseニ就テ	山田	囑託
39.	體操科教授要目ニ就テ	酒井	技師
40.	發育ヲ完了セル日本人男子ノ身長ニ就テ	吉田	技師
41.	運動食ノ研究	安田	技師
42.	體操ニ就テ	大谷	技師
43.	パツヂテストニ就テ	清水	技師
44.	運動ト氣温及ビ氣濕	吉田	技師

45.	體能ノ研究	阿部	技師
46.	醫學ノ立場ヨリ見タル體育	小笠原	技師
47.	人性論	山田	技師

(三) 指導教授

1. 講習會

講習會ハ前掲沿革ノ所ニ於テ述ベタル通り、ソノ都度受講者ノ資格ヲ一定シテ、開催シタルガ、ソノ講習科目及ビ講師ヲ列記スレバ左記ノ如シ。

- (1.) 全國官公立専門學校程度諸學校體操科擔任教員講習會
 - 體育運動概論(北)
 - 運動生理衛生(吉田)
 - 體操理論(大谷)
 - 競技理論(大谷)
 - 陸上競技理論(佐々木)
 - 青年心理(松井)
 - 救急處置(鹽田)
 - 體操(大谷、森)
 - 陸上競技(大谷、野口)
 - ラグビー蹴球(香山)
 - アンシェーション蹴球(佐々木)
 - バスケットボール(アラウシ)
 - 庭球(鎌田)
 - 其ノ他ノ球技(大谷)
- (2.) 東京府下公立高等女學校體操科擔任女教員體育講習會

- 女子體育概論(北) 女子ノ身體發育(吉田) 生理衛生上ヨリ見タル女子ノ體育運動(吉田) 生理(吉田) 女子體育運動(大谷) 女子陸上競技理論(佐々木) 女子運動心理(松井) 解剖(秋田) 體操(大谷、森) 遊戲(大谷、森) 陸上競技及ビ遊戲(佐々木) バスケットボール(柳田) 庭球(佐々木)
- (3.) 日本體育聯盟主催國民體育指導者講習會
日本體育聯盟ノ使命(林) 國家ノ體育(松浦) 體育運動精神(嘉納) 柔道(嘉納) 歐米各國ノ體育(北) 劍道(高野) 社會體育指導上必要ナル生理衛生(吉田) 精神作用ノ身體的關係(岩原) 國民體育指導法(大谷) 競技會管理法(野口) 運動場ノ設計(佐々木) 青年ノ心理(松井) 體操(大谷) トラックフィールド競技(野口) 同上(佐々木) ティームゲームス(大谷) 同上(佐々木)
- (4.) 全國中學校體操科擔任教員講習會
體育ニ關スル生理衛生(北) 實賤道德(深作) 體育ニ關スル生理衛生(消化吸收)(吉田) 中學校ニ於ケル體操・遊戲・競技ノ指導法(大谷) 運動場ノ設計及ビ管理(佐々木) 中學校

- 生徒ノ精神検査(松井) ラ式蹴球(大谷) モデファイドラグビー(大谷) 陸上競技(佐々木) 其ノ他ノ團體競技(大谷、佐々木)
- (5.) 全國高等女學校、實科高等女學校體操科擔任男教員講習會
女子體育概論(北) 實賤道德(深作) 女子身體ノ生理學的特徵及ビ婦人衛生(吉田) 體操及ビ遊戲(大谷) 疲勞ノ心理(田中) 女子特有ノ解剖學(秋田) 體操(大谷、宮田) 遊戲及ビ競技(佐々木) 舞踊(荒木)
- (6.) 日本體育聯盟主催國民體育指導者講習會
日本體育聯盟ノ抱負(林) 柔道(嘉納) 運動精神(黑田) 體育聯盟ノ事業(北) 運動ト榮養(村地) 劍道(高野) 各種強健法批判(吉田) 最近陸上競技(野口) 體操(大谷、二宮、宮田、森) 體研ボール(大谷) バスケットボール(藥師寺) ラグビーフットボール(鶴岡) ハンドボール(大谷) プレーグラウンドボール 佐々木) ヴァレーボール(佐々木)
- (7.) 東京府下小學校男教員體育講習會
學校體操概論(北) 體操及ビ教練ノ指導(大谷) 遊戲及ビ競技ノ指導(野口、佐々木)

- 解剖學(秋田) 心理學(阿部) 教育學(清水) 運動生理衛生學(吉田) 體操及ビ教練(大谷、森) 遊戲及ビ競技(野口、佐々木、高橋)
- (8.) 新潟縣下中等學校體操科擔任教員體育講習會
體操及ビ教練ノ指導(大谷) 遊戲及ビ競技ノ指導(野口、佐々木) 學校體操概論(吉田)
解剖學(秋田) 教育學(清水) 體操及ビ教練(大谷、森) 遊戲及ビ競技(野口、佐々木、高橋)
- (9.) 全國小學校教員體操科改正教授要目講習會
體操及ビ教練改正ノ方針(吉田) 同上改正ノ項目(大谷) 遊戲及ビ競技改正ノ方針(岩原) 遊戲及ビ競技改正ノ項目(野口、佐々木、高橋) 體操科(體操、遊戲、競技)教授上ノ注意(大谷、野口、佐々木、高橋、岩原、吉田) 教練(陸軍省) 劍道及ビ柔道(大谷、二宮) 體操及ビ教練(大谷、二宮、宮田、森、高橋) 遊戲及ビ競技(野口、佐々木、高橋)
- (10.) 全國師範學校女子部、高等女學校教員體操科改正教授要目講習會
講習會要項前ニ同シ

- (11.) 全國中學校、實業學校教員體操科改正教授要目講習會
講習會要項前ニ同シ
- (12.) 全國師範學校男子部教員體操科改正教授要目講習會
講習會要項前ニ同シ
- (13.) 日本體育聯盟主催體育指導者講習會
體育運動概論(北) 要目改正ノ方針(吉田) 體操改正ノ項目(大谷) 遊戲競技改正ノ項目(野口) 教授上ノ注意(體操)(吉田) 教授上ノ注意(遊戲)(岩原) 體操(大谷、二宮、宮田、森) 遊戲(野口、佐々木、高橋)
- (14.) 全國中等學校體操科擔任教員長期體育講習會
衛生學(吉田) 生理學(小笠原) 生化學(安田) 解剖學(秋田) 心理學(阿部) 教育哲學(清水) 體操(大谷、森) 遊戲及競技(佐々木、野口、藥師寺、高橋、三浦)
- (15.) 東京府下中等學校體操科擔任女教員體育講習會
衛生學(吉田) 生理學(小笠原) 生化學(安田) 解剖學(秋田) 心理學(阿部) 教育倫

理(清水) 體操(大谷) 遊戲(佐々木) 競技(野口) 體操(大谷、森) 遊戲(佐々木、高橋) 競技(野口)

(16.) 全國專門學校程度諸學校體操科擔任教員體育講習會

體育運動概論(北) 運動衛生及ビ體操科ノ要旨(吉田) 體操理論(大谷) 運動救急處置

(高木) 競技理論(野口、佐々木) 生理學(小笠原) 生化學(安田) 解剖學(秋田) 心理

學(阿部) 教育哲學(清水) 體操(大谷) 陸上競技(野口) 球技(佐々木) ラ式フットボ

ール(香山) バスケットボール(藥師寺)

(17.) 東京府下青年體育指導者體育講習會

運動衛生學(吉田) 生理學(小笠原) 運動化學(安田) 解剖學(秋田) 運動心理學(清

水) 體操(大谷、森) 遊技及競技(野口、佐々木) 遊戲(三浦)

2. 研究生指導

本所ニ於テハ、大正十四年十二月十五日、左ノ内規ヲ定メ、研究生ノ入所ヲ許可スルコト
トシタリ。

體育研究所研究生内規

第一條 體育研究所ニ研究生ヲ入所セシムルコトヲ得

第二條 研究生トシテ入所ヲ志望スル者ハ願書ニ履歷書ヲ添ヘ所長ニ願出ツベシ

第三條 研究生ノ資格ハ左ノ各號ニヨルモノトス

一、中等學校體操科教員免許狀ヲ有スル者

二、醫師

三、心理學、教育學ヲ專攻シタル者

四、其ノ他特ニ適當ナリト認メタル者

第四條 所長ハ前條ノ志望者ニツキ詮衡ノ上之ヲ許可ス

第五條 所長ハ各研究生ニ對シ指導主任ヲ定ム

指導主任ハ所長ノ命ヲ受ケ計畫ヲ定メテ指導ニ從事ス

第六條 研究生ノ在所期間ハ之ヲ六箇月トス、但シ本人ノ希望ニヨリ夫レ以上繼續スルコ

トヲ許可スルコトアルベシ

第七條 研究生ハ研究ニ要スル費用ヲ自辨スベシ、但シ差支ナキ場合ニ於テハ本所備附ノモノヲ使用セシムルコトアルベシ

第八條 研究生ハ研究修了ニ際シ在所間研究シタル所ヲ論文トシ指導主任ヲ經テ所長ニ提出スベシ

第九條 研究生ニシテ成績良好ト認メタル者ニ對シテハ研究證書ヲ授與ス

第十條 研究生ニシテ病氣其ノ他ノ事故ニヨリ研究ニ堪ヘザルニ至リタルトキハ所長ニ其ノ旨届出ツベシ

第十一條 研究生ニシテ研究生タルニ適セズト認メタルトキハ其ノ許可ヲ取消スコトアルベシ

今大正十五年二月以降昭和二年三月マデノ間ニ於テ入所シタル研究生ヲ掲グレバ左ノ如シ。

研究科目	指導主任	研究期間	氏名
體育ニ關スル理論及實際(主トシテ醫學的方面)	吉田技師	自大正十五年二月二十日 至同 三月十日	尾木稔
同	吉田技師	自大正十五年二月二十日 至同 六月二十五日	渡部重一郎

同(主トシテ生理衛生)	吉田技師	自大正十五年三月十八日 至同 七月三十一日	上杉敏夫
體操ノ理論及實際	大谷技師	自大正十五年三月三十一日 至昭和二年五月三十一日	千田三省
同	大谷技師	自大正十五年四月十九日 至昭和二年三月三十一日	小幡安
同	大谷技師	自大正十五年四月二十三日 至昭和二年五月二十五日	日高敏千代
同	大谷技師	自大正十五年四月二十三日 至昭和二年五月二十五日	小島榮太郎
同	大谷技師	自大正十五年四月二十三日 至昭和二年五月二十五日	中内辰熊
體育ニ關スル理論及ビ實際	大谷技師	自大正十五年四月二十八日 至昭和二年五月三十一日	吉田正雄
同(主トシテ解剖、生理衛生)	秋田技師	自大正十五年四月二十八日 至昭和二年五月二十六日	阿部吉治
體操ノ理論及實際	大谷技師	自大正十五年四月二十八日 至昭和二年五月二十九日	川崎作次郎
同	大谷技師	自大正十五年五月八日 至同 六月二十二日	酒井將
體育ニ關スル理論及實際(主トシテ教育心理)	清水技師	自大正十五年五月二十一日 至昭和二年三月十九日	荒崎新
同	阿部技師	自大正十五年五月二十一日 至昭和二年二月十九日	富田彦二郎
體操ノ理論及實際	大谷技師	自大正十五年五月二十三日 至昭和二年十月二十三日	峯岸德哉

體育ニ關スル理論及實際(主トシテ遊戯)	佐々木技師	自大正十五年五月二十六日 昭和二年六月二十四日	元原利一
同(主トシテ體操ノ理論及實際)	大谷技師	自大正十五年五月二十六日 至昭和二年十月二十五日	原八郎
同(主トシテ解剖學)	秋田技師	自大正十五年六月十一日 至昭和二年七月九日	山田義人
同(主トシテ陸上競技)	野口技師	自大正十五年六月十六日 至昭和二年三月二十日	吉井甚右衛門
同(主トシテ心理教育)	阿部技師	自大正十五年六月十九日 至昭和二年十月十八日	柏倉五郎
同(主トシテ教育心理)	清水技師	自大正十五年七月六日 至昭和二年七月五日	本間淳治
體操ノ理論及實際	大谷技師	自大正十五年十月十四日 至昭和二年四月十三日	早田茂
運動生理	小笠原技師	自大正十五年十二月六日 至昭和三年一月五日	三宅英
解剖學、運動心理	秋田技師	自大正十五年十二月六日 至昭和二年六月五日	高橋敏夫
體操及競技	大谷技師	自大正十五年六月五日 至昭和二年六月五日	柴崎敏郎
遊戯	佐々木技師	自大正十五年十二月六日 至昭和二年六月五日	向井彌之助
學校體操及解剖	大谷技師	自大正十五年十二月六日 至昭和二年三月十八日	池内健太郎
競技、遊戯ノ實演及理論	野口技師	自大正十五年十二月六日 至昭和二年六月二十日	我妻哲夫

三八

生理、衛生

3. 講演會

本所ニ於テハ、一般公衆ニ對シ講演會ヲ催シ、指導ノ範圍ヲ擴張センコトヲ事業ノ一トナセルモ、今マデハ創設後間モナキコトトテ、左ノ如ク只一回ノ講演會ヲ開催シタルニ止マレリ。

小笠原 技師 自大正十五年十二月廿一日
川島 恒吉 自大正十五年十二月二十日

大正十四年十二月十二日、英國人ダイアナウオアツ夫人ヲ聘シ、東京府立第三高等女學校ニ於テ、『古代ギリシヤノ理想ト方法トヲ復活シタル體操ト舞踊』ナル演題ノ下ニ、體育講演會ヲ開キ、三千ノ聽衆ニ多大ノ感慨ト暗示トヲ與ヘタリ。

4. 職員ノ出張ニヨル指導教授

本所ニ於テハ、事務ニ差支ナキ限り、一般社會ノ依頼ニヨリ、所員ヲ出張セシメ指導教授ヲ行フコトトセリ。而シテ大正十三年十一月ヨリ、昭和二年三月末日マデノ間ニ於テ、東京府ヲ始メ神奈川・兵庫・岡山等殆ド全國各府縣ニ出張シ、其ノ件數ハ七十五ニシテ延日數三百十四日ナリ。

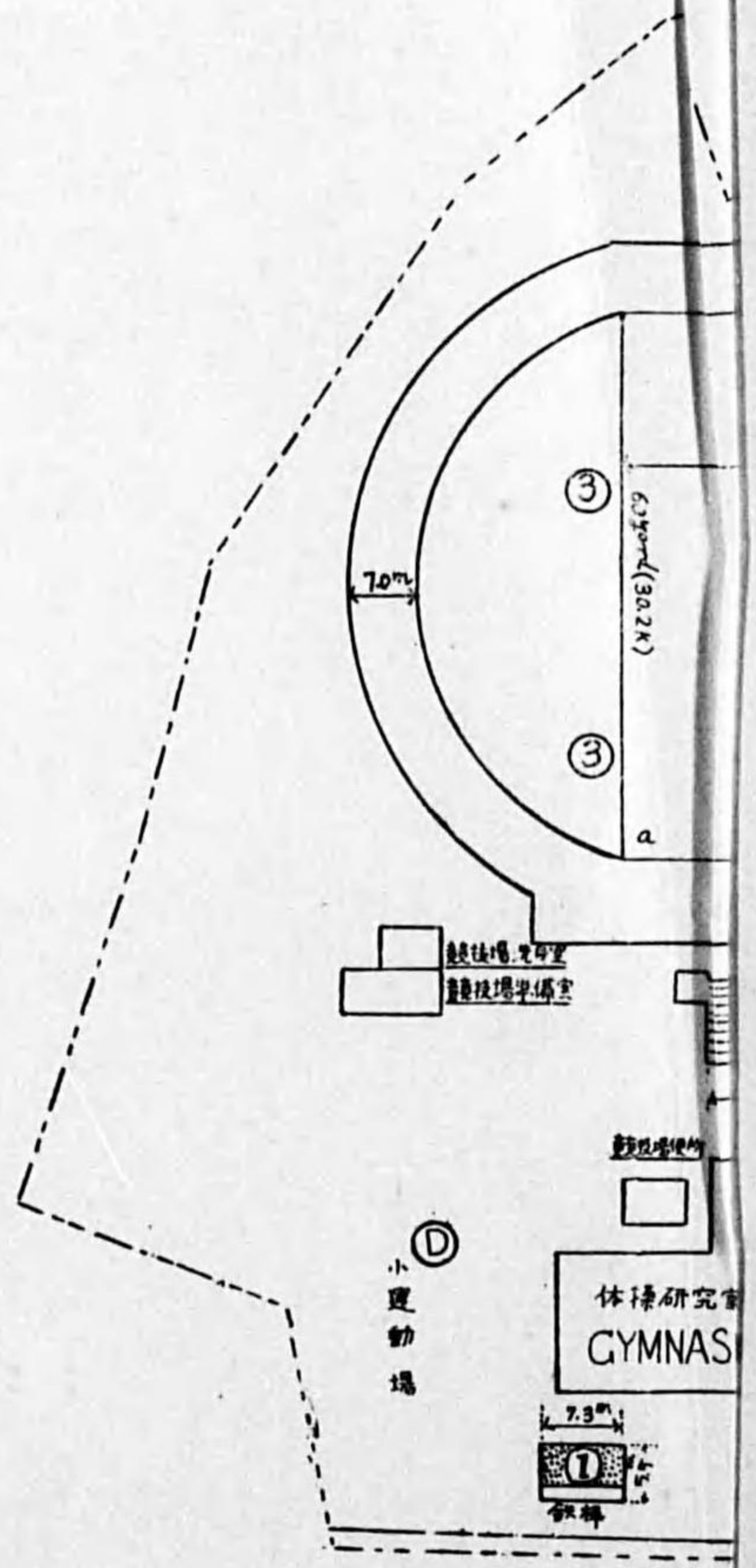
5. 質疑應答

體育ニ關スル學理・技術及ビ運動場ノ設計・運動ニ要スル器械・器具等各種ノ疑義ニツキ、書面若クハ本人來所ノ上質疑アリタル場合ハ、夫々専門ノ技術者ニ於テ十分研究シタル上、懇切丁寧ニ應答スルコトトセリ。而シテ昭和二年三月末日迄ニ於ケル重ナル質疑ハ左記ノ外八十六件ニ及ベリ。

- (1.) 小學校ニ於ケル體操科考查採點法ニ關スルモノ
(2.) 體操科ニ關スル研究物ニ就キテ批評ヲ求メタルモノ
(3.) 運動場設計ニ關スルモノ
(4.) 蹴球ノ種別及ビ普及狀況ニ就キテ
(5.) 體操研究室ノ設計ニ關スルモノ
(6.) 醫學及ビ心理學ノ器械取扱ヒニ關スルモノ
(7.) 體操器械、器具ノ取扱ヒニ關スルモノ
(8.) 小學校體操科要目ニ就キテ

- (9.) 小學校ニ於ケル獨逸式體操ニ就キテ
(10.) 小學校兒童疲勞測定法ニ關スルモノ
(11.) 小學校ニ於ケル體操ノ基礎的調査ニ就キテ
(12.) 兒童營養程度觀識ニ關スルモノ
(13.) 小學校兒童飲用水ニ就キテ
(14.) 一般ノ陸上競技ニ關スルモノ
(15.) 身體營養促進ニ關スルモノ
(16.) 身體整形方法ニ就キテ
(17.) 體力、精力増進方法ニ關スルモノ
(18.) 身體ノ均齊發育方法ニ關スルモノ
(19.) 中學校生徒體力検査ニ關スルモノ
(20.) 神經衰弱者ニ施スベキ適當ナル運動方法ニ就キテ

體育研究所一般平圖
THE RESEARCH INSTITUTE OF PHYSICDU



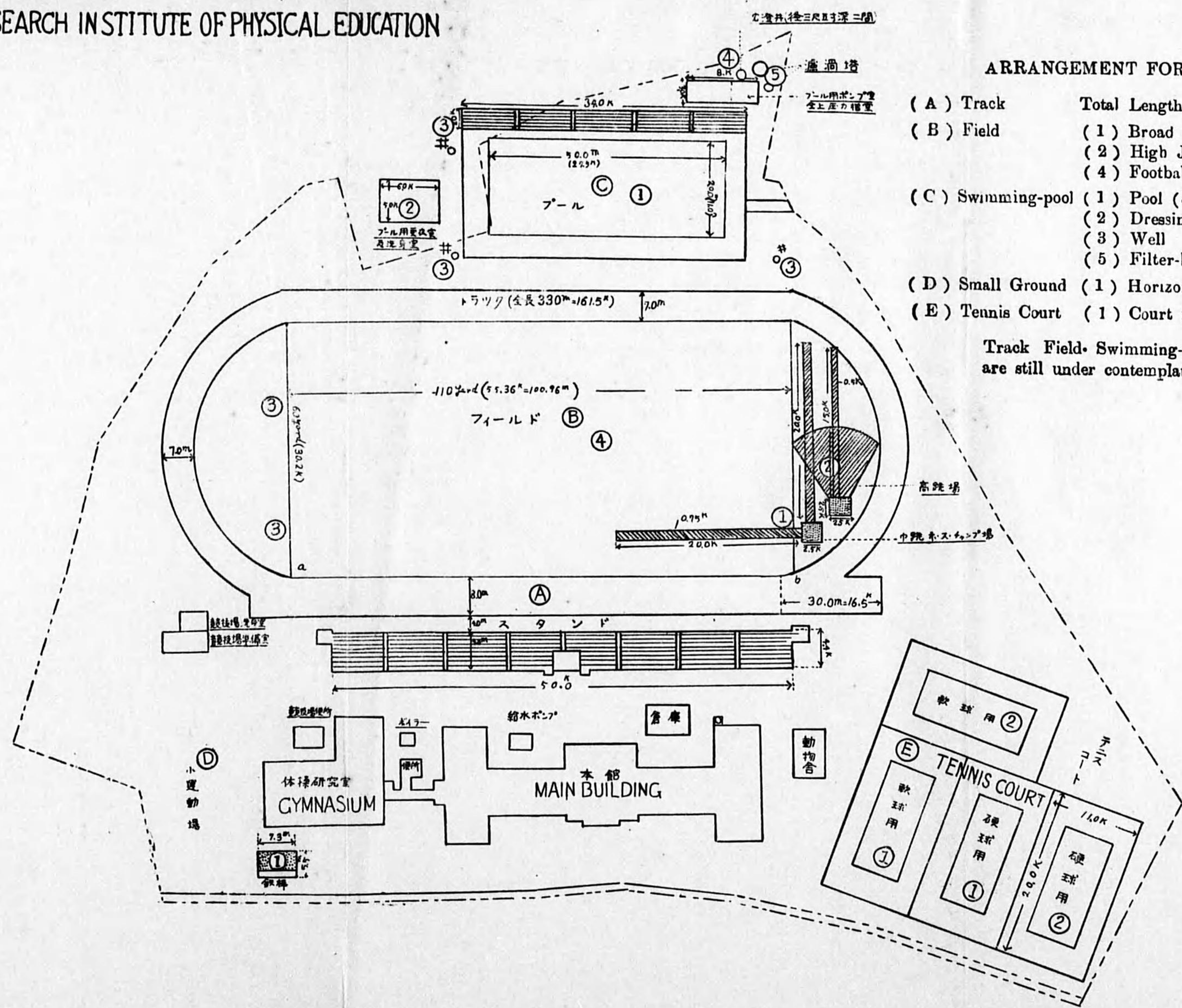
六、出版

本所ハ本所ノ調査研究ニ依ルモノニシテ、社會一般ニ普及シテ價值アリト認ムルモノヲ單行
本トシテ隨時刊行スルコトトセリ。今既ニ刊行シタルモノヲ舉グレバ左ノ如シ。

學校體操解説 頁數三百二十頁 昭和二年二月二十五日發行
(定價一圓八十錢)

(終)

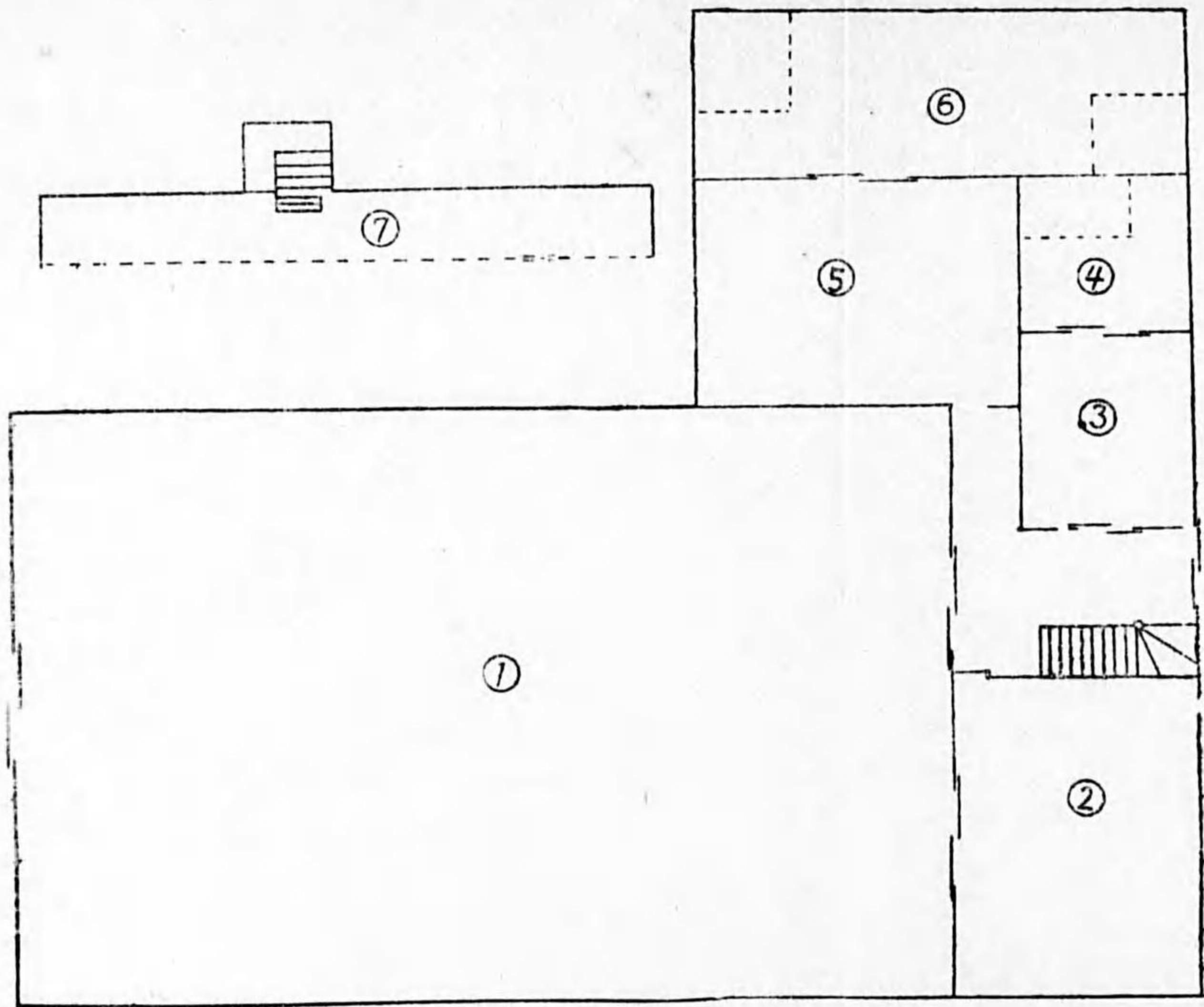
體育研究所一般平面圖
THE RESEARCH INSTITUTE OF PHYSICAL EDUCATION



ARRANGEMENT FOR OUTDOOR EXERCISE

- (A) Track Total Length 330m
- (B) Field (1) Broad & Hop Step and Jump Pit (2) High Jump Pit (3) Throwing Circle (4) Football Ground
- (C) Swimming-pool (1) Pool (50m × 20m.) (2) Dressing Room & Toilet (3) Well (4) Setting Pond (5) Filter-bed
- (D) Small Ground (1) Horizontal Bar
- (E) Tennis Court (1) Court for Men (2) Court for Women

Track Field Swimming-pool and Tennis Court are still under contemplation.

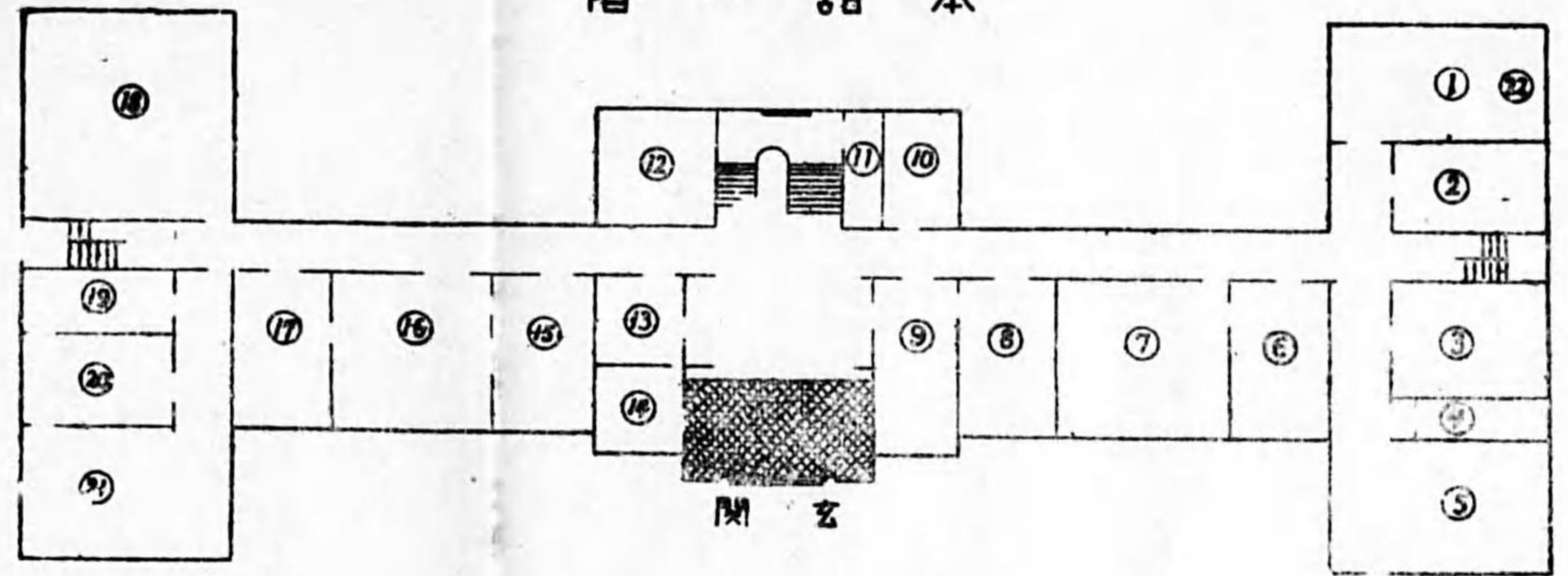


體操武道研究室及諸室

體操武道研究室

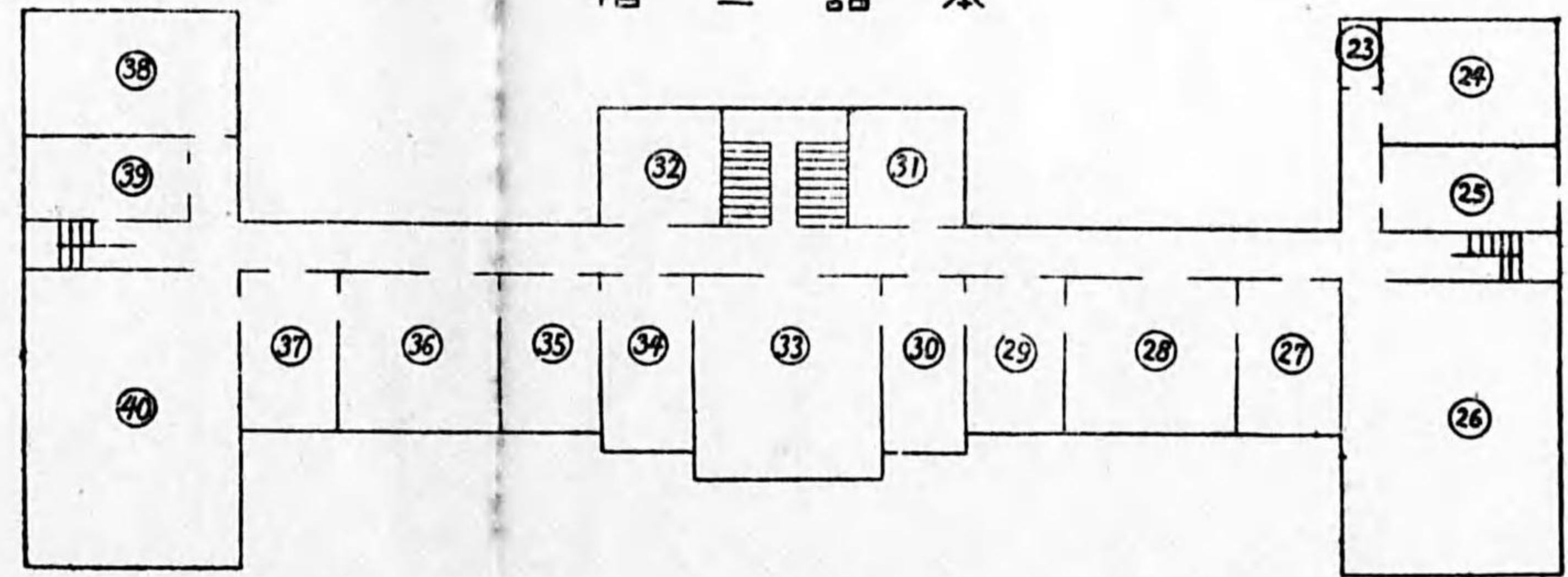
- 一、構造ノ大要
 高二十八尺、横七間半、縦十一間、延坪一四六・二五坪腰地盤上四尺五寸ハ鐵筋コンクリート、ソノ上部ハ木造金鋼張モルタル塗、天窓六箇。側面ノ窓ハ二段、何レモ硝子及金網戸ノ二重張ニシテ通風・採光ニ最モ意ヲ用ヒタリ。ホールノ外周三方ニハ、スチーム暖房ノ装置ヲナシ、金網覆ノ電燈ハ適所ニ取付ケラレテ、夜間及ビ嚴寒ノ時ト雖モ使用ニ便セリ。
- 一、間取説明
 1 ホール 2 體操器具置場 3 女子更衣室 4 女子浴室 5 男子更衣室 6 男子浴室 7 觀覽席
- 一、ホール内設備
 チェストウエート・肋木・固定梯子・移動梯子・窓梯子・バスケットボールゴール・兒童用大人用鐵棒・移動吊環・ヴァレーボールネット取付具・吊棒・吊繩・吊環・斜繩・平行棒ノ十

本館一階



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|-------|-----|-----|-------|-----|-------|-----|----|-----|------|----|-----|-----|-----|--------|-------|--------|-------|------|----|--------|
| 22 | 21 | 20 | 19 | 18 | 17 | 16 | 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 汽罐室(地階) | 病理解剖室 | 標本室 | 標本室 | 解剖實習室 | 藥品室 | 化學研究室 | 天秤室 | 受付 | 小使室 | 女傭人室 | 物置 | 宿直室 | 應接室 | 事務室 | 心理學研究室 | 器械標本室 | 心理學實驗室 | 寫真用暗室 | X光線室 | 火室 | 生理學實驗室 |

本館二階



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-----|--------|-----|-----|-------|-------|-----|-----|----------|-------|-------|-------|-----|--------|--------|------|-----|
| 40 | 39 | 38 | 37 | 36 | 35 | 34 | 33 | 32 | 31 | 30 | 29 | 28 | 27 | 26 | 25 | 24 | 23 |
| 講堂 | 標本室 | 衛生學研究室 | 標本室 | 圖書室 | 第五所員室 | 第四所員室 | 所長室 | 應接室 | 教育及哲學研究室 | 第三所員室 | 第二所員室 | 第一所員室 | 標本室 | 食堂兼會議室 | 生理學研究室 | 細菌學室 | 培養室 |

昭和二年十二月二十五日 發行

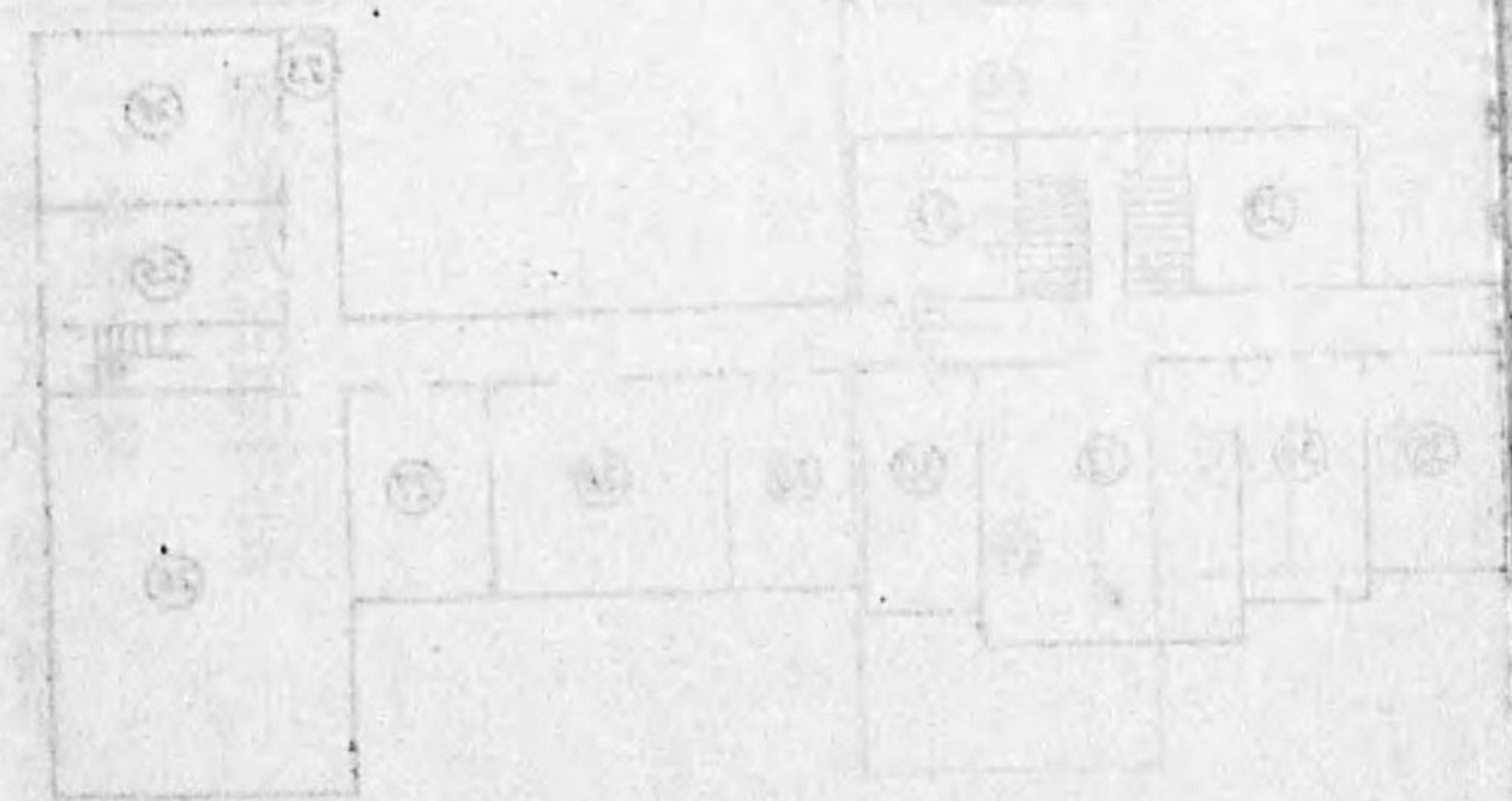
體 育 研 究 所

東京府下代々幡町字代々木西原九八三
電話・四谷・四五一七



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

本館一階



101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200

本館二階

270
452

NO.

"F-M"
PAMPHLET BINDERS

are carried in stock in the following sizes

Catalog No.	High	Wide	Thickness
851(菊倍)	30.cm.	x 24.cm.	x 1cm.
852(四六倍)	26. "	x 18.5 "	x 1 "
853(菊)	22.5 "	x 15. "	x 1 "
854(四六)	18.5 "	x 12.5 "	x 1 "
855(特)	24. "	x 15. "	x 1 "

other sizes are made to order

LIBRARY SUPPLIES OF ALL KINDS

F. MAMIYA & CO.
OSAKA - TOKYO - FUKUOKA

終